

平成31年4月12日

平成30年度（第72期）

司法修習生 各位

実務修習地 東京、立川、横浜、さいたま、千葉、大阪、京都、神戸、奈良、大津及び和歌山

司法研修所事務局総務課長 中村浩毅

入寮申込みについて（お知らせ）

当研修所における集合修習期間中に合宿舎への入寮を希望する者の入寮申込みを下記のとおり受け付けます。

記

1 入寮希望者は、別紙様式による「入寮許可願」を作成の上、「司法研修所（いづみ寮）事務局総務課寮務係」宛ての簡易書留により、**5月17日（金）（同日消印有効）**までに各自郵送する。同日までに「入寮許可願」を発送しない者は入寮を許可しないので、注意する。

なお、「入寮許可願」に虚偽の記載をした場合は、処分されることがある。

2 合宿舎として、いづみ寮及びひかり寮を用意する。

入寮希望者が収容可能人数を超える場合、入寮を必要とする事情を総合的に考慮して入寮の許否を判断するが、原則として、以下の順位で割り当てる。

(1) 通所圏内に住居を有しない者

(2) 現住所の住居又は自宅（実家を含む。）等の所在地から司法研修所までの通所時間の長い者（なお、抽選の方法を用いて決定する場合がある。）

他方、入寮希望者が収容可能人数に満たない場合でも、入寮申込みの追加受付は行わない。

3 「入寮許可願」を提出した者に対する入寮の許否の通知は、実務修習地の地方裁判所宛てに入寮許否の通知書を**7月3日（水）**に発送する方法により行う。

(別紙様式)

72A

平成・令和 年 月 日

司法研修所長 殿

(第72期) 司法修習生

(実務修習地)

組 番)

氏りがな

印

昭和・平成 年 月 日生(歳)男・女

入 寄 許 可 願

私の住居の状況等は下記のとおりであり、集合修習期間中に合宿舎へ入寄したいので、
許可してください。

入寄中は、「司法研修所司法修習生在寄準則」等の規律を厳守します。

記

1 実務修習中の現住所(必ず記載する。)

〒 一 住 所

電話番号 (- - -)

携帯電話 (- - -)

2 1以外の自宅(実家を含む。)等の住所

(二つ以上ある場合には、下の余白に(2), (3)などと符号を付した上で記載する。)

〒 一 住 所

電話番号 (- - -)

3 喫煙の有無 有(電子器具含む。) 無

《以下、1及び2に記載の住所が東京都、神奈川県、埼玉県又は千葉県内にある場合》

4 1及び2に記載の住所のうち、和光市駅又は大泉学園駅までの所要時間が最短のもの
(電車を利用しない場合は、司法研修所までの所要時間が最短のもの)

1の住所 2の住所 (2以外→)

5 4でチェックを付した住所の最寄り駅等

(1) 電車の利用 利用する ((2)から(4)までも回答)

利用しない(司法研修所までの所要時間)

徒歩(分)

自転車(分)

バス(分, 乗車停留所名:)

(2) 最寄り駅 _____ 線 _____ 駅

(3) 最寄り駅からの所要時間 ____ 時間 ____ 分(到着駅) 和光市駅 大泉学園駅

(4) 最寄り駅までの移動手段と所要時間

徒歩 ____ 分 バス ____ 分(乗車停留所名:)

6 4でチェックを付した住所から司法研修所に通所できない場合は、その理由(できる限り詳しく記載する。)並びに4でチェックを付さなかった住所(東京都、神奈川県、埼玉県又は千葉県内にある場合)の利用の可否及び司法研修所までの所要時間